

ITSに対する提言

提言1. 安全運転支援システムの実用化、普及計画の着実な実行

- 1) 安全運転支援システムの実用化・普及
- 2) 通信インフラ整備と車載機器の普及

「官民ITS 構想・ロードマップ2015」に記載された 短期的施策

- ①安全運転支援システム付き自動車
(レベル1)の普及促進
※レベル1(単独型) 加速・操舵・制動のいずれかの操作を
自動車が行うシステム
- ②情報提供型の安全運転支援端末の
実用化・普及促進
- ③歩行者等に対応できるセンサー、システムの
研究開発・普及

(官民ITS構想・ロードマップ2015)

②情報提供型に必要な 通信インフラ整備と車載器



△ DSSS 一般道路車間システム



△ ETC2.0 専ら道路車間システム

(国交省、ITSJapan資料)

ITSに対する提言

提言2. 交通安全対策への自動車走行情報の活用

- 1) 交通事故削減に資する、公共データオープン化の推進
- 2) 活用上の課題を官民で共有化しつつ、プローブ情報の活用

交通安全面で活用可能性が高い交通データ(例)

| 情報名 | データの公表状況 |
|-----------|--|
| 渋滞、通行規制情報 | 高速道路・国道は国土交通省地方整備局、高速道路会社、もしくはJARTIC、地方路線は自治体ごとに公表 |
| 交通事故情報 | 各県警などが個別に公表、詳細な統計・集計表の提供はITARDA(原票は非公表) |
| 道路情報 | 路面状態に関する情報はあまり公表されていない(積雪や雨量などの情報は提供されている) |
| 信号制御情報 | 信号現示情報(変化のタイミング)は現状では非公表 |
| 交通量情報 | トラカン、光ビーコンによる地点ごとの交通量データ、車検証情報(オドメータ記録等)は非公表 |

(自工会資料)

民間プローブ情報の行政分野での活用



<急ブレーキ多発箇所対策前:国道254号(和光市)>



<対策後:街路樹を剪定して見通しを確保>

(Honda資料)

道路に対する提言

提言1. 幹線道路の更なる利便性向上を図り、生活道路への
不必要な車両の流入を抑制

提言2. 生活道路における歩道・自転車道の重点的整備、ゾーン
対策の推進

提言3. 高齢社会を見据えた、安全・安心な次世代交通環境整備

提言4. 自転車に関わる事故削減のため、事故多発箇所を中心
とした道路安全対策の実施

提言5. 二輪車や小型モビリティの安全な走行空間確保



△高輝度LED信号、着雪対策



△ゾーン30



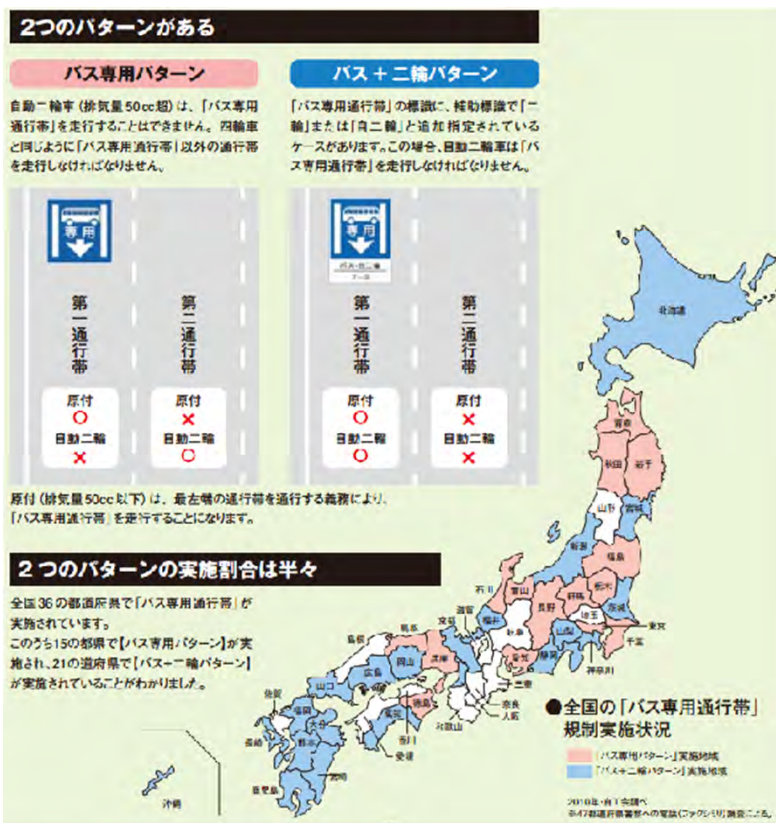
△カラー舗装による一時停止の注意喚起

道路に対する提言

提言5. 二輪車や小型モビリティの安全な走行空間確保

1) 自動二輪車が「バス専用通行帯」を含む複数の通行帯を走行できるよう、通行規制の見直し

バス専用通行帯の通行規則の現状と自工会の提案

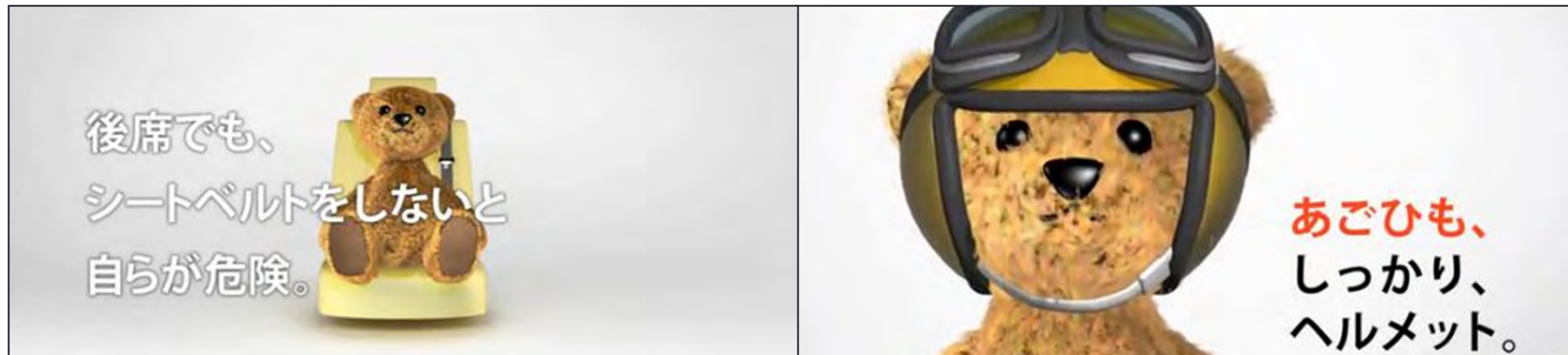


自工会の提案



標識の誤認識の抑止
無理なすり抜け走行の回避
道路空間の有効活用

（自工会資料）



一社)日本自動車工業会

END